施策評価シート

年度
3

1. 基本情報

まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち		
施策	快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	快適な都市機能の維持		
取り組み事項	下水道事業の健全経営と維持管理を図る		
主管部局	建設農林部　建設管理課	関連部局	

めざす暮らしの姿

快適な都市機能の維持

基本方針

下水道施設や道路施設など日常生活に密着する公共インフラについては、計画的かつ効率的に整備及び維持管理を行い、快適な都市機能のいじに努めます。

施策の方針

下水道事業の適正な運営及び施設の維持管理により安定した汚水処理を図りながら、下水道事業の健全経営を図ります。

2. 事業費

(1)歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			4.83	4.83	4.83	4.83
会計年度任用職員数			0.77	0.77	0.77	0.77
人件費計			33,863,392	38,076,706	38,076,706	38,076,706
事業費計			1,286,555,000	1,190,713,000	1,200,000,000	1,200,000,000
フルコスト			1,320,418,392	1,228,789,706	1,238,076,706	1,238,076,706

(2)歳入

単位：人、円

		実績値				計画値	
		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金					0	0
	県支出金					0	0
	市債					0	0
	その他					0	0
一般財源1				1,320,418,392	1,228,789,706	1,238,076,706	1,238,076,706
一般財源2				1,286,555,000	1,190,713,000	1,200,000,000	1,200,000,000

3. 成果指標

(1)成果指標

指標名	経費回収率					
単位	%					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R元	R2	R3	R4	R5	R6
単年度目標値		80	90	90	90	90
単年度実績値		77.7	89.8			
単年度達成率	－	97.12%	99.77%	－	－	－

(2)施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	経費回収率
前年度との比較	↑：向上
所見	企業会計となったため、減価償却費が積算根拠となって、実態に近づいた数値となり、類似団体の数値に対して若干上回る結果となっている。

構成事務事業の事後総合評価

事務事業名	事務事業担当者の評価 担当者所見	上位責任者の評価 方向性及び所見	総合評価

評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名	
下水道事業	

施策の事後総合評価

(1)施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
経費回収率	99.77%	↑：向上	89.8%

【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 （(a)による自動判定）	達成状況
	99.77%	高	保留
	達成状況の原因分析、説明等		

(2)施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい 安定経営に向け令和4年度からの下水道使用料の改定作業を行った。
構成事務事業に課題はないか	ある 人口減少社会の中で、インフラの維持管理のための下水道使用料の改定が今後も必要になってくる。
施策の総合評価	B：おおむね順調に進捗している
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	安定経営に向け下水道使用料の改定を行った。
今年度の成果等	公共用水域の水質保全と公衆衛生の向上を継続的に図るため、下水道施設の包括維持管理業務委託により、民間のノウハウを最大限活用し、処理施設の延命化を図りながら、質と効率性を両立した下水道施設の維持管理業務を継続し、引き続き水質要求基準を達成した。 また、雨水対策については、千尋地区及び那波地区の雨水路整備工事が完了した。
第三者評価委員会意見	

施策評価シート

年度
3

1. 基本情報

まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち		
施策	快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	快適な都市機能の維持		
取り組み事項	道路などの整備と適切な維持管理に努める		
主管部局	建設農林部　建設管理課	関連部局	都市整備課

めざす暮らしの姿

快適な都市機能の維持

基本方針

日常生活に密着する公共インフラについて、計画的かつ効率的に整備及び維持管理を行い、快適な都市機能の維持に努めます。
また、市域全体を見据えた中で、各地域の実情に合った土地利用を促進し、秩序あるまちづくりを計画的に進めます。

施策の方針

中心市街地への通過交通の回避と市街地間の一体性を高めるため、幹線道路などの整備の促進を図ります。
生活道路及び老朽化する橋梁の状態を適切に把握し、計画的な改良及び維持修繕を行います。

2. 事業費

(1)歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			3.32	2.56	0.16	0.16
会計年度任用職員数			0.63	0.58	0.07	0.07
人件費計			23,418,538	20,433,193	1,326,507	1,326,507
事業費計			282,263,695	454,420,000	460,000	460,000
フルコスト			305,682,233	474,853,193	1,786,507	1,786,507

(2)歳入

単位：人、円

		実績値				計画値	
		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金			97,298,000	109,500,000	0	0
	県支出金					0	0
	市債			78,852,000	173,900,000	0	0
	その他			1,401,920	29,073,000	0	0
一般財源1				128,130,313	162,380,193	1,786,507	1,786,507
一般財源2				104,711,775	141,947,000	460,000	460,000

3. 成果指標

(1)成果指標

指標名	実施した自治会数の増減					
単位	件					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	R元	R2	R3	R4	R5	R6
単年度目標値	35	35	35			
単年度実績値	37	26	29			
単年度達成率	105.71%	74.28%	82.85%	−	−	−

(2)施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	実施した自治会数の増減
前年度との比較	↑：向上
所見	例年同じ自治会が実施しているが、近年は新型コロナウイルス感染症により、中止せざるを得ないことがあった。

構成事務事業の事後総合評価

事務事業名	事務事業担当者の評価 担当者所見	上位責任者の評価 方向性及び所見	総合評価
道路愛護事業	B：現状のまま継続 近年は新型コロナウイルス感染症の影響により、参加する自治会が減少している。 通常、各自治会の年間行事で予定していることから、今後は開催方法を工夫しつつ活動が再開されると見込んでいる。	B：現状のまま継続 河川愛護事業と並行して事業実施し、快適に暮らせるまちづくりを進めていく。	A

評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名	
交通安全施設整備事業	
街灯維持管理事業	
道路橋梁維持管理事業	
道路台帳整備事業	
道路橋梁整備事業（都市整備）	
道路橋梁整備事業（建設管理）	

施策の事後総合評価

(1)施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
実施した自治会数の増減	82.85%	↑：向上	

【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率（a）	達成度 （（a）による自動判定）	達成状況
	82.85%	中	B：おおむね順調
	達成状況の原因分析、説明等		
	新型コロナウイルス感染症の影響により、やむを得ず中止した自治会があった。		

(2)施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい
構成事務事業に課題はないか	ない
施策の総合評価	B：おおむね順調に進捗している
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	美化意識の向上、自治会組織の強化などに有効である。
今年度の成果等	今後も実施団体と連携を密にし、地域住民参加型での道路の清掃管理を進める。
第三者評価委員会意見	

施策評価シート

年度
3

1. 基本情報

まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち		
施策	快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	快適な都市機能の維持		
取り組み事項	秩序ある都市空間を形成する		
主管部局	建設農林部　建設管理課	関連部局	都市整備課、農林水産課

めざす暮らしの姿

快適な都市機能の維持

基本方針

日常生活に密着する公共インフラについて、計画的かつ効率的に整備及び維持管理を行い、快適な都市機能の維持に努めます。
また、市域全体を見据えた中で、各地域の実情に合った土地利用を促進し、秩序あるまちづくりを計画的に進めます。

施策の方針

土地利用の現況・地域特性などを考慮し、長期展望に基づき、都市施設の計画的な整備及び適正な土地利用を促進します。
また、土地の実態を正確に把握し、土地の有効活用及び保全を図るために、地籍調査を推進します。

2. 事業費

(1)歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			3.79	3.79	0.0	0.0
会計年度任用職員数			1.07	0.89	0.0	0.0
人件費計			27,227,834	30,296,590	0	0
事業費計			22,250,486	29,720,000	0	0
フルコスト			49,478,320	60,016,590	0	0

(2)歳入

単位：人、円

		実績値				計画値	
		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金			227,000	1,080,000	0	0
	県支出金			14,001,260	15,890,000	0	0
	市債					0	0
	その他			0	1,000	0	0
一般財源1				35,250,060	43,045,590	0	0
一般財源2				8,022,226	12,749,000	0	0

3. 成果指標

(1)成果指標

指標名	届出件数の増減					
単位	件					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R元	R2	R3	R4	R5	R6
単年度目標値	0	3	3			
単年度実績値	4	4	5			
単年度達成率	－	133.33%	166.66%	－	－	－

(2)施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	届出件数の増減
前年度との比較	↑：向上
所見	法令上の届出基準を遵守し、受理・進達を行った。

構成事務事業の事後総合評価

事務事業名	事務事業担当者の評価 担当者所見	上位責任者の評価 方向性及び所見	総合評価

評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名	
土地利用規制等対策事業	
都市計画基礎調査事業	
屋外広告物取扱事業	
地籍調査事業	
都市計画総務費事務経費	
土地区画整理事務経費	
建設管理課事務経費	
都市整備課事務経費	
狭あい道路整備事業	

施策の事後総合評価

(1)施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
届出件数の増減	166.66%	↑:向上	
届出件数の増減		↑:向上	
都市計画基礎調査		→:維持	
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	166.66%	高	A:順調
	達成状況の原因分析、説明等		
	効果的に周知できたため。		

(2)施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい
構成事務事業に課題はないか	ない
施策の総合評価	B:おおむね順調に進捗している
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	国・県からの受託事務であるため、継続実施する。
今年度の成果等	今後も法令を遵守し、円滑な事務処理に努める。
第三者評価委員会意見	

事務事業評価シート

年度
3

1. 基本情報

事業番号	050101020006	事務事業名	道路愛護事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	快適に暮らせるまちづくり
基本施策	快適な都市機能の維持	取り組み事項	道路などの整備と適切な維持管理に努める
部名	建設農林部	課名	建設管理課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	市道の草刈りや側溝清掃などの道路愛護事業を実施した自治会に対し、参加人数・実施時間・作業距離に応じて報奨金を支出する。		
対象	市道の草刈りや側溝清掃などを実施した自治会		
目的	市民に道路の清掃活動に参加してもらうことで、道路を大切にしようとする心を育み、直接的にも間接的にも道路美化を促す。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

2. 事業費

(1)歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.16	0.16	0.16	0.16
会計年度任用職員数			0.07	0.02	0.07	0.07
人件費計			1,184,423	1,253,273	1,326,507	1,326,507
事業費計			401,920	460,000	460,000	460,000
フルコスト			1,586,343	1,713,273	1,786,507	1,786,507

(2)歳入

単位:人、円

		実績値				計画値	
		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金			0	0	0	0
	県支出金			0	0	0	0
	市債			0	0	0	0
	その他			401,920	460,000	0	0
フルコスト－特定財源				1,184,423	1,253,273	1,786,507	1,786,507
事業費計－特定財源				0	0	460,000	460,000

3. 評価指標

(1)活動指標

指標名	実施した自治会の参加人数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			6,180	6,200	6,300	6,400
単年度実績値			6,180			
前年比	－	－	－	－	－	－
単年度達成率	－	－	100%	－	－	－

(2)コスト指標

指標名1	愛護活動実施自治会参加者一人あたりのフルコスト					
単位	円／人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			256.6898	276.3344	283.5725	279.1417
単年度実績値			256.6898			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A:妥当性が高い	道路の清掃のみにとどまらず、ポイ捨て予防の啓発にもつながり、効果的な道路美化が図れる。	なし
有効性	A:有効性が高い	地域住民自ら清掃活動に参加してもらうことで、道路美化意識を向上させ、快適な都市機能の維持や住民間の連携強化にもつながる。	なし
効率性	A:効率性が高い	参加人数や時間、距離などの範囲に応じ、有効で適切なコスト配分をすることができている。	なし
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	ボランティア保険に加入していることや、他課において草刈り機等の貸し出し等を行っていることをさらにPRする。	なし
透明性	B:比較的透明性を確保している	ホームページ等で活動助成のPRを行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	近年は新型コロナウイルス感染症の影響により、参加する自治会が減少している。 通常、各自治会の年間行事で予定していることから、今後は開催方法を工夫しつつ活動が再開されると見込んでいる。
休止・廃止となったときの影響	地域の美化活動を中止したり縮小されることが危惧され、それにより地区の道路状況の悪化が予想される。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	河川愛護事業と並行して事業実施し、快適に暮らせるまちづくりを進めていく。